



平成28年度 地域発 元気づくり支援金【北信地域】 32事業が内定しました。

「地域発元気づくり支援金交付要綱」に基づき、北信地域事業選定委員会による審査を経て、下記のとおり内定しました。

1 事業区分別の選定状況

(単位:千円)

事業区分	選 定 状 況		
	件数	支援額	事業例
1 地域協働の推進	6	14,325	協働のむらづくり事業、景観からのまちづくり
2 保健、医療、福祉の充実	4	8,731	障がい者就労支援事業、お父さんの読み聞かせ
3 教育、文化の振興	6	4,082	中野天領シンポジウム、ふれあいわんぱく学校
4 安全・安心な地域づくり	1	671	高齢者世帯排雪作業支援事業
5 環境保全・景観形成	2	4,496	蓮池外来植物駆除、志賀高原森林再生事業
6 産業振興、雇用拡大 (小計)	9	20,713	
(1) 特色ある観光地づくり	6	17,025	斑尾高原トレッキングトレイル整備
(2) 農業の振興と農山村づくり	0	0	
(3) 森林づくりと林業の振興	1	1,027	カヤの平高原におけるブナの森づくり
(4) 商業の振興	1	900	ハロウィンイベント
(5) その他	1	1,761	女性・若者のためのコワーキングスペース整備
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業	0	0	
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	4	2,821	婚活交流事業、高社山エリア魅力発信事業
合 計	32	55,839	

【再掲】県全域で重点的に推進するテーマに関する事業分

重点テーマ区分	件数	支援額	事業例
県と市町村との協働事業	4	17,827	北陸新幹線飯山駅「アクティビティセンター」運営など
自然エネルギーの普及・拡大	0	0	
障がい者、女性、若者の雇用促進、就業支援	2	6,997	障がい者就労支援事業、女性・若者のためのコワーキングスペース整備
地域防災力の向上	0	0	
子育て支援	2	1,346	お父さんの読み聞かせ、ふれあいわんぱく学校
災害復興対策	0	0	
合 計	8	26,170	

【再掲】北信地域で重点的に推進するテーマに関する事業分

重点テーマ	件数	支援額	事業例
北陸新幹線飯山駅開業を活かした地域づくりに資する事業	10	21,229	信越自然郷エリア日本版DMO推進事業、飯山市文化交流館開館記念コンサート、五高原ロングライド、斑尾高原トレッキングトレイル整備等

【参考】

- 当地域の要望状況:33団体から37件 約7,500万円の要望がありました。内訳は地域づくり団体等公共的団体から28件 約5,900万円、市町村から9件 約1,600万円です。
- 平成28年4月12日(火)および20日(水)に事業選定委員会を開催し、事業を内定しました。
- 選定結果を踏まえ、該当団体の皆様には事業ごとの採否を付した書面により通知するとともに、選定した事業についてはより効果的に実施していただけるよう適切な助言をしてまいります。
- 1次分採択の結果、内定額が予算額を下回ったため、2次募集を行います。
- 2次募集の期間は5月2日(月)から6月10日(金)ですが、別途お知らせします。

◆◇「オール信州」宣言◇◆
私たちは「長野県人口定着・
確かな暮らし実現総合戦略」の
実現に取り組んでいます。

北信地方事務所 地域政策課 企画振興係
担 当:(課長)吉原明彦 (担当)沖 美香
電 話: 0269-23-0201(直通)
FAX : 0269-23-0256
E-mail: hokuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

平成28年度 地域発 元気づくり支援金【北信地域】 選定事業一覧表

平成28年4月20日現在

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業主体	事業名	事業内容 (主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業)	総事業費(単位：千円)		支援金内定額 (単位：千円)	重点テーマ等
							うち 支援金 要望額		
1	地域協働の推進	ハード	中野市	手づくり農村支援事業	農業基盤整備の推進を図り農村の自立を促す契機とすることを目的に、地域住民が発意し、施設管理者、農家、地域住民が協働して行う農道・水路の補修・整備の直接施工や維持管理活動を支援する。 ②原材料の支給等 農道舗装8地区(5,937千円)、水路改修8地区(8,862千円)	8,862	4,431	4,431	
2	地域協働の推進	ハード	飯山市	協働のむらづくり事業	住民と市が協働して農林業用施設(農道・林道・水路)を整備することにより、施設の維持管理作業を軽減し、農林業生産の効率を高める。また、協働作業を通じて住民同士の交流、施設管理意識の向上を図る。 事業実施予定39箇所、うち支援金対象：農林道舗装等11箇所、水路改修17箇所 ②原材料購入費(6,085千円)	7,460	4,057	4,057	
3	地域協働の推進	ハード	山ノ内町	地域協働で農業に活力を与えるための施設整備	地域住民が自立的に実施する農道舗装に原材料支給等で支援することにより通行の安全確保、果実運搬時の荷痛み減少を図り、高齢化や後継者不足に悩む農家への生産意欲の向上と安定した農業経営につなげる。また、協働作業を通じて住民同士の交流、農道管理意識の向上を図る。 ②農道舗装5地区 原材料費(3,055千円)、重機借上料(1,039千円)、広報表示、看板作成費(76千円)	4,170	2,085	2,085	
4	地域協働の推進	ハード	野沢温泉村	手づくり農道舗装等事業	農業従事者が高齢化する中、農山村景観の保全と農用地の荒地化防止を図るため、農作業の労力を軽減と生産意欲の向上、農用地の流動化を目指す農家・非農家が協力して自らが行う農道舗装等に対し、村が原材料を支給する。 ②農道舗装2箇所 原材料(砕石、コンクリート、メッシュ)支給(2,623千円)	2,623	1,748	1,748	
5	地域協働の推進	ハード	栄村	農地等国土保全事業	農業従事者の高齢化が進む中、農業用施設の維持管理作業の軽減を図るため、集落等の要望により改修が必要な農道及び用排水路等について、村が原材料等を支給する。 ②原材料支給:農道舗装等4箇所、水路等改修9箇所(3,849千円)	3,849	1,668	1,668	
6	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	木島平村	木島平村後継者対策事業 木島平村をまるごと体験～婚活交流会～(仮称)	行政と民間が協働して実行委員会を組織し、多様なニーズに応じた婚活イベントを企画、実施する。 ①イベント会社委託費(594千円)、チラシ等広報(194千円)、カヌー体験等施設使用料(157千円)	1,152	729	729	
7	教育、文化の振興	ソフト	木島平村	旧跡・名跡かるた作成事業	木島平村に数多く存在する史跡を学ぶため、村民が参加し「旧跡・名跡」かるたを作成、地区のかるた会等により活用し、地域住民のコミュニケーションの増加を図る。 ①かるた作成(550千円)	550	413	413	
8	教育、文化の振興	ソフト	高井地方史研究会(中野市)	中野天領の歴史を探る	高井地方の歴史を研究し、年4回の会誌「高井」を発行してきたが、会創立50年を節目として「中野天領シンポジウム」を開催するほか、「幕領中野陣屋」に関する記録集を発行し、地域住民の郷土史への関心を高め、陣屋を中心とした地域づくりを目指す。 ①講師謝金ほか(413千円)、①記録集印刷(862千円)	1,276	957	957	
9	保健、医療、福祉の充実	ソフト	おはなしのびっくりにこ(おとこぐみ)(中野市)	「お父さんの読み聞かせ」おはなし会のミニマラソン	父親の子育て参加の具体的な取り組みの一つとして「お父さんによる読み聞かせ」を推進しているH26は講演会を開催、H27は具体的な実践の方法や本を紹介し、お父さんによる読み聞かせの浸透を図った。H28は県内にくっつかある男性による読み聞かせ団体とのコラボレーションによる実践発表を行い、広く「お父さんによる読み聞かせ」活動を推進する。 ①読み聞かせ団体謝金(130千円)、ポスター等印刷(334千円)	610	488	488	子育て支援

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業主体	事業名	事業内容 (主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業)	総事業費(単位：千円)		支援金内定額 (単位：千円)	重点テーマ等
							うち 支援金 要望額		
10	商業の振興	ソフト	中野市商店会連合会 (中野市)	ドキドキ ハロウィン	普段商店街を利用しない若い世代に商店街を知ってもらうためのイベント(ハロウィン仮装パレード)を行い、商店街や個店に親しみを持ってつくりとする。 ①会場、イベント経費(911千円)、②広告宣伝、警備費ほか(338千円)	1,250	900	900	
11	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト・ハード	結文舎ワークス ラボ (中野市)	女性・若者の雇用促進及び就業支援、中野市の文化振興のためのシェアスペースの整備	中野市内の若手クリエイターの事業創出を図るため空き店舗を改修し、子育て世代や若者が利用しやすいコワーキングスペース兼図書室を整備する。 ②改修費(2,930千円) ①備品整備(432千円)、①ワークショップ講師謝金(200千円)、ワークショップ材料費(160千円)	3,773	2,627	1,761	就業支援
12	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	高社山を世界に発信する会 (中野市)	高社山を中心とした地域の賑わい創出事業	信州・山の日イベントとして高社山エリア(中野市・木島平村・山ノ内町)で連携して高社山及び山麓地域の景観、文化など発信し、地域の知名度を高める。 ①登山にかかるバス運行等(113千円)、チラシ印刷(60千円)、ホームページ作成等(314千円)、会報発行(181千円)	757	568	431	新幹線
13	教育、文化の振興	ソフト	特定非営利活動法人信州ふるさと郷育ネットワーク (中野市)	子どもの環境・郷土学習に関わる事業	郷土の自然環境や伝統文化等に親しみ理解を深めるための副教材として「ふるさとドリル」を作成し、郷土学習が始まる中野市内の小学校3年生に無償配布する。 ①ドリル印刷費等(614千円)、CD制作費(237千円)	852	639	489	
14	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	信州なかの観光協会 (中野市)	天領信州なかの「み(味・観・実)どころ」まち歩き情報発信事業	北陸新幹線飯山駅開業を契機に新たな観光客の来訪を促進するため、信州なかの文化・歴史・特産品等の魅力を一元的に発信している観光協会のWebサイトをスマートフォン対応するための更新等を行うほか、観光ボランティアガイドのスキルアップ研修を行い、中野市の観光情報を発信する。 ①Webサイト構築(1,406千円)、先進地視察ほか(255千円)	1,728	1,268	1,268	
15	地域協働の推進	ソフト	一般社団法人長野県建築士会中野支部 (中野市)	景観からのまちづくり協働事業	中野市一本木公園周辺の都市計画道路の建設計画にあたり、周辺地域住民と協働により歴史や文化を踏まえた景観形成を念頭としたまちづくりを研究する。 ①講演会会場費ほか(449千円)、視察研修費(304千円)	753	564	336	新幹線
16	教育、文化の振興	ソフト・ハード	信州中野ふるさと交流団 (中野市)	第23回ふれあいわんぱく学校in中野	埼玉県坂戸市と中野市(旧・豊田村)の子どもの交流事業を平成5年から毎年行っており、この活動がきっかけで両市が災害時相互応援協定を締結するに至った。中野市に合併し一度は中断したが団を再結成して10周年となる記念イベントとして従来のキャンプのほか千曲川でのラフティングを体験し、自然環境を学習し両市の友好を深める。 ①交流会バス代、ラフティング等(687千円)、②テント購入(626千円)	1,313	858	858	子育て支援
17	保健、医療、福祉の充実	ソフト	特定非営利活動法人北信ふくしMねっと (中野市)	地域のふれあい拠点づくり事業	認知症高齢者や障がい者及び関係者、子育て中の親子など社会参加が少ない人々を対象に音楽を通じた交流を行い、様々な心の不安や負担を軽減する。 ①音楽団体への謝金(360千円)、会場使用料(71千円)	446	334	334	
18	特色ある観光地づくり	ソフト	一般社団法人信州いいやま観光局 (飯山市)	信越自然郷エリアにおける日本版DMO推進事業	信越9市町村広域観光連携会議が実施してきた事業を引き継ぎ、これまでの事業効果の把握を行うとともに、信州いいやま観光局が日本版DMO候補法人に申請したことから信越9市町村の中心となりマーケティング手法などを活用、効果的な取組拡大などを行い、飯山駅開業後の広域観光事業を推進する。 ①JR広告費(4,000千円)、タクシー運行費(800千円)、旅行誌広告掲載(4,900千円)、イベント出展料(2,000千円)、モンベル提携料等(1,800千円)	16,700	11,200	9,000	協働・新幹線

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業主体	事業名	事業内容 (主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業)	総事業費(単位：千円)		支援金内定額 (単位：千円)	重点テーマ等
							うち 支援金 要望額		
19	特色ある観光地づくり	ソフト	信越自然郷・五高原ロングライド実行委員会(飯山市)	信越自然郷・五高原ロングライド2016	H26は北陸新幹線飯山駅開業と信越自然郷を大きくPRし、自転車を電車で移動する「輪行」の啓発等を行い、H27では「輪行」についてPRを強化した。H28はインバウンドを強化し、台湾に焦点を絞り現地と連携したツアーを企画、ホームページ等の多言語化を図るほか、参加者が家族同伴で楽しめるよう応援バスを運行する。 ①Web広告等の多言語化・通訳(672千円)、家族応援バス運行(172千円)、コース設営(399千円)、パンフレット等印刷(550千円)	5,531	1,516	1,516	新幹線
20	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	斑尾高原観光協会(飯山市)	誰でも楽しめるトレイルに！斑尾高原トレッキングトレイルユニバーサル化事業	「信越トレイル」の起点である「斑尾高原トレッキングトレイル」において、北陸新幹線飯山駅開業を機に増加している外国人をはじめ、年齢やハンディの有無に関わらず誰もが楽しめるコースとするため、道標やマップに英語表記を加えるほか、トレイルの一部改修をおこなう。 ①道標等整備(864千円)、ホームページリニューアル(459千円)、トレイルマップのリニューアル(518千円) ②トレイルの一部改修(249千円)	2,090	1,547	1,547	新幹線
21	保健、医療、福祉の充実	ソフト	飯山赤十字病院(飯山市)	医師等確保対策事業	飯山赤十字病院は常勤の産科医が確保できなくなることから28年度4月から分べんの取扱いを休止することとなったが、他にも小児科、内科等医師不足が続いている。北陸新幹線飯山駅開業に合わせ新幹線車内広告により医師の募集を図っていたところだが、28年度は飯山市と連携し、移住先としての飯山市の魅力PRしつつ医師を募集し、二地域居住など新しい暮らし方を提案する。 ①北陸新幹線車内広告(5,330千円)	5,347	4,277	2,673	協働・新幹線
22	保健、医療、福祉の充実	ハード	株式会社フジすまいるファーム飯山(飯山市)	障がい者総合支援法に基づく就労継続支援A型事業	28年1月末、食料品等のチェーンストアを全国展開する㈱フジ(本社：愛媛県松山市)が長野県と飯山市が進める「農・福連携事業」の趣旨に賛同し、「株式会社フジすまいるファーム飯山」を設立した。障がい者を継続的に雇用する「就労継続支援A型事業所」を立上げ、遊休農地を開墾し伝統野菜の坂井芋等を栽培、廃校となった岡山小学校の給食室等をそのまま活用し加工施設とし、農産物の加工・販売を行うことにより、農業の振興を図るとともに障がい者の自立を支援する。 ②送迎バス(6,459千円)、軽トラック(1,150千円)、農地開墾・整備費(788千円)	8,397	5,236	5,236	就業支援
23	教育、文化の振興	ソフト	飯山市文化交流館なちゅら開館記念市民第九コンサート実行委員会(飯山市)	飯山市文化交流館なちゅら開館記念市民第九コンサート事業	飯山市内の中学校・高校には音楽分野の部活動がないため、今後の市民の文化芸術活動の衰退が懸念されている。飯山文化交流館の開館を機に、近隣の住民を集め第九コンサートを開催することを目標に掲げ、若者も参加しやすい合奏練習を行い、文化芸術の振興を図る。 ①オーケストラ委託費(2,184千円)、合唱指導者等謝金・旅費(1,159千円)、会場使用料(349千円)、広告宣伝費(205千円)、著作権使用料(60千円)	4,294	764	764	新幹線
24	特色ある観光地づくり	ソフト	一般社団法人信州いいやま観光局(飯山市)	信越自然郷アグリナビによるインバウンド誘客促進事業	長野県が推進する「山岳高原を生かした世界水準の滞在型観光地づくり」の一環として飯山駅開業にあわせ開業した「信越自然郷アグリナビセンター」において、外国人旅行者の増加に対応できる選取等が不足しているため、各種ツアーやプログラムについて英語により情報発信することにより魅力ある観光地づくりを図り、更なる誘客につなげていく。 ①英語版Web構築(2,116千円)、自転車モニターツアー・広告宣伝費(228千円)、通訳及びガイド謝金(240千円)、自転車マップ印刷製作費(162千円)	2,786	2,228	2,228	協働・新幹線
25	教育、文化の振興	ソフト	おもしろ夢倶楽部(山ノ内町)	ふるさとの歴史・文化遺産を未来に！伝承事業	山ノ内町内在住の101歳のおばあさんが地元で伝わる話を聞き取り紙芝居を創作している。その内容を保存するため紙芝居絵本を作成するとともに紙芝居を上演、地域の子ども達が郷土への愛着を深める機会としたい。また、閉館した写真館に昔の写真が数多く残されていることから、町民からも古い写真を募集し合わせてデータ化し、町の歴史として保存する。 ①絵本製作(579千円)、写真撮影(100千円)、人形劇場会場使用料、謝礼(40千円)、写真データ化作業所使用料(40千円)	802	601	601	
26	環境保全、景観形成	ソフト・ハード	志賀高原観光協会(山ノ内町)	第3期志賀高原ユネスコエコパーク蓮池外来種駆除事業	外来植物に覆いつくされた蓮池を、H26は専門業者による深部駆除、H27は深部草刈機を自前で製作し、地元住民、観光事業者、小学生と共に一斉駆除作業を行い一定の成果を得た。H28は深部草刈機の改良を図り、志賀高原内外の池にも対応できるよう駆除作業を進め、広く住民参加の活動として地域に根付く取組みとする。 ①船外機改良等(250千円)、廃棄物撤去費用(291千円) ②駆除物搬出用ボート(222千円)	945	570	570	
27	安全・安心な地域づくり	ハード	すがかわ暮らし応援隊(山ノ内町)	須賀川地区における高齢者世帯の除雪・排雪作業支援事業	地区の3割近くを占める高齢・独居世帯にとって困難な冬期間の除雪・排雪を「すがかわ暮らし応援隊」が支援することにより、高齢者が安心して住み続けられるシステムをつくる。 ②小型除雪機(283千円)、中型除雪機(703千円) ①車載用アルミブリッジ(19千円)	1,005	671	671	

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業主体	事業名	事業内容 (主な用途、①：ソフト事業、②：ハード事業)	総事業費(単位：千円)		支援金内定額 (単位：千円)	重点テーマ等
							うち 支援金 要望額		
28	環境保全、景観形成	ソフト・ハード	ABMORI実行委員会 (山ノ内町)	「後世に残そう森・水・いのち」志賀高原森林再生事業	県と山ノ内町が中心となり、H26から志賀高原の閉鎖スキー場の森林再生を目的とした植樹活動「いのちを守る森づくり」を実施している。H27は単なる植樹イベントに終わらせることなく、小学校の授業の一環として、志賀高原から拾ってきたドングリから苗木を育て植樹した。H28は日本生態学会での研究発表を目標とした10年に及ぶモニタリング調査を高校生を対象に行うなど、志賀高原ユネスコエコパークの学習プログラムの更なる充実を図る。 ①育苗～植樹事業バス費用(1,878千円)、モニタリング・バス費用(157千円)、仮設トイレ設置(200千円)、 ②植樹事業・整地(4,968千円)	9,100	5,030	3,926	協働
29	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	地域創生研究所 あつまれむらびと (木島平村)	あつまれむらびとプロジェクト	木島平村が総合計画策定にあたり行ってきた「村づくり集会」を契機に、地域の課題解決に向けた自主的な研究会が立ち上がり、「あつまれむらびと」としてNPO法人化を進めている。商工会や観光関係、農業など多様な人材が参加する集団となるが、定期的な情報発信していくためホームページを開発し運営していく。 ①ホームページ作成費等(465千円)、会場使用料(60千円)	525	393	393	
30	森林づくりと林業の振興	ソフト	NPO法人 森のライフスタイル研究所 (伊那市)	296年後の世界遺産登録をめざす、木島平村カヤの平高原におけるブナの森づくり	カヤの平高原牧場は夏の間は牛の放牧地として栄えてきたが、現在では牧畜農家の減少により、未利用部分が増加している。そこで未利用の牧場を昔のブナ林に復元することを、都市住民と地域住民の交流により行い、森づくりを行うと共に、都市との交流人口を創出する。 ①バス借料等(900千円)、森林指導講師等謝金(154千円)、募集チラシ印刷費(162千円)、リヤカー購入(107千円)	2,269	1,027	1,027	
31	特色ある観光地づくり	ソフト	野沢温泉源泉かけ流しの会 (野沢温泉村)	「源泉かけ流し全国温泉サミット」開催事業	日本源泉かけ流し協会に加盟している全国12箇所の温泉地の会員とマスコミ関係者を集め「源泉かけ流し全国温泉サミット」を野沢温泉村で開催する。温泉の機能等について科学的にアプローチする講演会を行い、地域資源の魅力をアピールし、特色ある観光地づくりへ繋げる。 ①プログラム・チラシ等印刷費(285千円)、講師謝金(100千円)、マスコミ宿泊費・交通費(495千円)	1,816	747	747	新幹線
32	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	信越秋山郷会 (栄村)	秘境秋山郷素朴な観光おもてなし事業	県境の津南町・栄村両地域の秋山郷住民が協働し、H26はガイドブックの作成、食のコンテストなど、H27はフォトコンテスト、料理講習会の開催、パンフレットを作成。H28はフォトコンテスト入選作展示、食のコンテスト、ショートムービーの製作等を行い、秋山郷の魅力を発信する。 ①写真シート(388千円)、食のコンテスト出展等(860千円)、プロモーションムービー製作(1,500千円)、②イラスト看板(1,350千円)、電動アシスト自転車購入(326千円)	4,426	3,217	1,987	新幹線
北信地方事務所 計					32事業	135,212	74,923	55,839	